

軍機

第九根據地隊機密第一五號六

自昭和十六年十二月一日
至昭和十六年十二月三十一日

第九根據地隊戰時日誌

第九根據地隊司令部

二月二十日提出



2213

〔目次〕

一 經過

二 人員、現狀

三 令、達、報告等

四 參考

 (一) 麾下艦船部隊行動

 (二) 附屬艦船部隊行動

 (三) 戰訓

 (四) 寫真

五 作戰經過概要

〔目次終〕

自昭和十六年十二月一日
至昭和十六年十二月三十日

第九根據地隊戰時日誌

一 經過

(一) 一般情勢

○ 當隊ハ十月中旬ニ西亞ニ集合シ爾後戰備作業ニ從
事ススト共ニ一部兵カヲ海南警備府海上部隊ニ協力
セシメ三亞港ノ警備戒ニ當ラシム

○ 機密馬來部隊命令作第一號 機密馬來部隊
根據地部隊命令作第一號及同第二號ニ基キ十一月三日
以降各部隊所定ノ作戰行動ヲ開始ス

○ 十二月八日。四一五米英兩國ト交戦状態ニ入ル

十二月八日陸軍部隊「シゴラ」上陸ニ引續キ同地ニ上
陸根據地ノ設営ヲ開始シ十二月十二日終了ス

當隊「シゴラ」在泊中主トシテ根據地ノ警戒陸軍揚
陸作業ノ援助、海上交通保護所在陸軍ト連絡ニ
任ジ一部兵カラ「バタニー」及「コタパル」ニ派遣シ同地区ノ警戒
ニ任ゼシメ各方面共ニ頻當ニ經過シ陸軍部隊ノ作戰ニ寄
與スル所大ナルモノアリト認ム

本月中敵飛行機ノ来襲レテ受ケタルコト數回ニ及ビ
モ僅カニ陸上ニ被害アリタルニテ我艦艇輸送船團
ニ被害ナシ

モシゴラ泊地ハ冬期偏東風連吹シ海上ハウネリ大
ニシテ横付補給極メテ困難ナリシモ作戦行動支障ヲ生デシ
コトナシ

馬來方面陸軍部隊ノ作戦ハ概テ順當ニ経過ス

泰ハ日泰攻守同盟締結以來全面的ニ協カラ開始

シコサタヒブ附近ノ哨戒ヲ実施ス

又陸上ニ於テハ敵ノ第五列部隊ヲ檢束スル等漸次治
安モ確保セラレツアリ

(二) 敵軍ノ情勢

當方面ニ於ケル敵潜水艦ノ主ナル配備左ノ如シ

イ) 「サンゲヤック」ノ南東海面ヨリ「ブロンズ」ノ南オ海面ニ至ル

間

ロ) 「カモ」岬附近

ハ) 「カモ」岬及「シシゴラ」ノ中間附近

ニ) 馬末東岸

右潜水艦ノ隻数不明ナルモ合計數隻程度ニシテ主ト

シテ輸送船團ノ襲撃ヲ企圖セルモノ、如ク積極的ニ

我艦艇ニ対シテハ攻撃ヲノ氣勢カナシ

只開戦初頭「パタニー」附近ニ於テ輸送船三隻敵潜水艦

ノ襲撃ヲ受テ若干ノ損害アリタルモ上陸部隊ハ戦カニ

大ナル影響ヲ與ヘズ

八月月中旬以降敵ノ海空軍勢カモ逐次低下シ既我
 ニ向ヒ攻勢ヲ削ガレタルモノ如ク特ニ英在東亞主力艦
 隊ノ全滅ニ依リ南支那海ノタイ海灣ノ制海權ハ完全我
 ノ獲得スル所トナリ僅ニ救隻ノ敵潜水艦ガ輸送船ヲ窺
 フニ過モサル狀況ナレリ

三) 任務編制 配備

イ. 艦隊編制

巴	分	艦	船	部	隊	特設艦船部隊	所屬長官	司令官
---	---	---	---	---	---	--------	------	-----

3

三	二	一	部隊番號
○	✓	✓	隊番號
長沙丸	初鷹丸	永興丸	艦船番號

□ 艦隊区分

南遣艦隊
第九根據地隊
初鷹丸 第一掃海隊 第一驅潛隊
相良丸 永興丸 長沙丸
野島丸 第九警備隊 第九驅潛隊
第九通信隊
聯合艦隊司令官
南遣艦隊司令官
第九根據地隊司令官

八 任務・編制

山 兵力部署

第一兵力部署(甲) (自十一月九日 至十二月九日)

区分	指揮官	兵力	主要任務
根拠地部隊	第一南九第	相良丸	三輸送船隊 間接護衛

四	○ 第二掃海隊 (戸掃六掃五掃三掃二掃一掃)
五	一 第九十駆潜隊 (戸長江丸 第七昭南丸 第十昭南丸) 二 第十駆潜隊 (戸駆八 駆七 駆九)
六	○ 相良丸
七	✓ 第九十警備隊 (戸保丸)
八	✓ 第九十一通信隊
九	✓ 野島丸

根據地部隊	區分	第一兵刀部署(乙)	自十二月九日〇〇〇〇 至十二月三十一日〇〇〇〇
艦司令	指揮官	南第	
艦司令	兵	九司令	
艦司令	力	989	
艦司令	主要任務	相良丸	一、シシゴラニ陸根據地(情況)依 ハバタニ補助陸根據地(設置)
艦司令		長沙丸	二、シシゴラ水上基地設置
艦司令		士郎南丸	

備考	相良丸	馬末部隊第航空部隊ニ編入
	1wg 11chg	馬末部隊護衛隊ニ編入
	長沙丸	馬末部隊機雷部隊ニ編入
	士郎南丸	馬末部隊カミン基地部隊ニ編入
	陸警一小隊半	馬末部隊西貢基地部隊ニ編入
	989	
	艦司令	王師南丸
	艦司令	1wg 11chg
	艦司令	士郎南丸
	艦司令	一小隊
	艦司令	三、シシゴラ水上基地設置
	艦司令	ニ、シシゴラニ陸根據地(狀況)依 リハバタニ補助陸根據地(設置)

2222

備

考

相良丸

馬末部隊第航空部隊ニ編入

長沙丸

馬末部隊機雷部隊ニ編入

三昭南丸

馬末部隊カマラン基地部隊ニ編入

二四号掃海艇
九号駆着艇

馬末部隊護衛隊ニ編入

陸警一小隊半

馬末部隊西貢基地部隊ニ編入

ロ 指揮系統ノ異動

前記兵力部署ニ依ル根據地部隊所屬艦船ニシテ他部隊ノ指揮下ニ入リタルモノ及其ノ期間

艦名	期間	指揮官
掃三	自十一月十六日 至十一月二十一日	
掃五 馬着八 駛着九	自十一月十六日 至十一月二十一日	

四 参考

(一) 麾下艦船部隊行動

九	八	七	六	五	四	三	二	一	日
	六五					九	垂	三垂	永興丸
	六三〇					九	垂	三垂	初鷹丸
		面	方	道	水	カ	ア	三垂	長沙丸
					カ	ア	ア	三垂	第一掃海隊
								三垂	掃一
								三垂	掃二
								三垂	掃三
								三垂	掃四
								三垂	掃五
								三垂	掃六
								三垂	第九駆着隊
								三垂	第十駆着隊
								三垂	第十一駆着隊
								三垂	相良丸
								三垂	第一九
								三垂	第一九
								三垂	野鳥丸

三〇	二九	二八	二七	二六	二五	二四	二三	二二	二一	二〇	日
	ラ		ユ		シ		シ		一九〇〇	大洋丸	(一) 附属艦船部隊行動
	ラ		ゴ		シ		シ		一九〇〇	朝洋丸	
	ラ		ゴ		シ		シ	二〇〇〇	豊丸	等七丸	
	ラ		ユ		シ		シ	二〇〇〇	感應丸	威應丸	

五
以
調
査

第九根據地隊機密第一五號ノ九

本件以下三部括

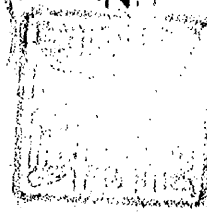
三月五日送付

單機

自昭和十七年一月一日
至昭和十七年一月三十日

第九根據地隊戰時日誌

第九根據地隊司令部



2229

(目次)

- 一 經過
- 二 人員ノ現狀
- 三 令達報告等
- 四 參考
 - (一) 麾下艦艦部隊ノ行動
 - (二) 附屬艦船部隊ノ行動
 - (三) 戰訓
- 五 作戰經過概要

(目次終)

2230

自昭和十七年一月一日
至昭和十七年一月三十日
第九根據地隊戰時日誌

一 經過

(一) 一般情勢

イ 當隊大部二月中旬迄概ネ「シゴラ」附近在リテ「シゴラ」
「バタニ」コトバル方面ノ警戒並ニ担任区域內ノ海上交通保護任ス

ロ 一月中旬「シゴラ」基地及海上ニ一部兵カラ残置シ大部ハ「ゴ
コ」ドレ面航シ作戰準備中陸軍部隊ノ馬來作戰進捗
シニ作戰ハ取止メラレタルモ當隊ハ「シ」作戰計畫ニ基キ一月下旬
以降「ア」ン「バ」ス攻畧作戰行動ヲ開始ス

ハ 「シ」ゴラ「基地」部隊ハ同基地ノ警戒海上交通保護及所在

陸軍ト連絡「ペナン」基地部「ペナン」潜水艦基地設置及
補給ニ任ズ

ニ「アナンバ」基地部隊ハ二月二十六日「アナンバ」ニ進出陸警隊
ヲ以テ「テランパ」ヲ占領スルト共ニ附近主要島嶼ヲ掃蕩機
雷ノ敷設及泊地ノ掃海ヲ実施ス爾後同基地ノ對潛對
空警戒ニ任ズ

ホ「第三航空部隊」ハ「プロモント」ニ待機「アナンバ」基地設營直後
同基地ニ轉進「第三航空部隊」ハ「アナンバ」ノ攻畧作戰初期
當隊ニ協力敵艦艇航空機ノ攻撃ヲ並ニ「アナンバ」軍
事施設ノ破壊ニ任ズ

2232

へ、當隊ノ一部兵カラ以テ陸軍輸送船ヲ護衛シ、エドウ
上陸作戰ニ一部ヲ以テ、シンカワニ、クナニ方面ノ水上飛行機基
地員輸送作業等ニ任ゼシメラル

(三) 敵軍ノ情勢

イ、馬来、比島及「ホルネオ」作戰ノ進展トニツレ、南支那海ノ制
海空權ハ概ネ我獲得スレトコロトナリ、敵水上艦艇ハ當海
面ニ於テ殆ド出現セザル狀況ナリ

ロ、敵潛、敵機ノ活動モ消極的ニシテ、敵潛ハ僅カニ「コロドル」
東南ヲ海面ニ乃至ニ隻ヲ配シアルモノ、如ク而モ我艦艇ニ
對シ、攻勢ノ意氣ナク、僅ニ輸送船等ノ無防禦船ヲ窺ミ
過キス

敵機亦同様シテ大型飛行艇或ハ爆撃機数機ニ依リ
 数回「ナンバス」方面ノ偵察又ハ夜間爆撃等ヲナシアルニ
 過キズ

(三) 任務編制、配備

イ. 艦隊編制

南遣艦隊	區
第九根據地隊	分
初鷹	艦
第一掃海隊	船
第九士驅潛隊	部
相良丸	附設艦船部隊
永興丸	隊
長沙丸	所屬
第九士驅潛隊	長官
野島丸	司令官
第九士警備隊	司令官
第九士通信隊	司令官

艦隊區分

部 隊 番 號	隊 番 號	艦 名	番 號
一		永興丸	
二		初鷹丸	
三		長沙丸	
四		第一掃海隊 (長江丸、掃五、掃二、掃三、掃四)	
五	二	第十一駆替隊 (八、七、九)	
六		相良丸	
七		第九士警備隊	
八		第九工通信隊	
九		野島丸	

2235

機密馬來部隊命令作第五號S作戰計畫依リ一月十日以後ノ兵力部署左ノ通

部	地	據	根	區分	指揮官	兵力	主要任務
部隊	基地	基地	基地	第一	9B9 司令部	初鷹丸、長沙丸、永興丸、野島丸	「アナンバス」補給基地、設置
司	艦	遣	角			91cg 91kg 各大部	第一航空部隊「アナンバス」水上機基地設置ニ協力
	香椎艦長					特設監視艇ニ隻、四隻	次期作戦準備
	91cg 91kg	香椎、符士、昭南丸				91cg 91kg 各大部	水上機基地設置ニ協力
	5x2 相談	漢船ニ隻				漢船ニ隻	海上交通保護
	一部 (約十名)	一部 (約二十名)				一部 (約十名)	所在陸軍トノ連絡
							「アナンバス」根據地ノ警戒

羽丸及特設監視艇四隻ヲ根據地部隊指揮下スル
③ 右以外ハS作戰計画ニ準ス

(四) 作戰指導

イ 作戰計画及令達ノ要旨

機密馬來部隊命令作第五號S作戰計画ニ基キ根據地
部隊ヲ「ナンバス」シ「ゴラ」及「マナ」各基地部隊ニ区分シ「シ」シ「ゴラ」基地部
隊ヲシテ「シ」シ「ゴラ」基地ノ警戒、海上交通保護及所在陸軍部隊ト
ノ連絡「マナ」基地部隊ヲシテ「マナ」潜水艦基地設置及潜水
艦ノ補給ニ任セシメ「ナンバス」基地部隊ハ之ヲ直率「ナンバス」進出ス
ヲ攻畧スト共ニ補給基地設置營並ニ水上基地設置協カス其ノ
後情勢ノ変化ニ依リS作戰ハ取止メラレタレモ一部兵力異動
アリタルノミニシテ右計画ニ準ジ本作戦ヲ遂行スルコトシ「ナン

「バ」基地部隊ハ「コロコンドル」ニ集結一月二十四日同地ヲ出撃シ第
三航空部隊「アナンバス」敵施設並ニ水上艦艇ノ撃滅ニ対応シ
二十六日未明「アナンバス」ニ進入第九中隊ヲ以テテ
ランパ附近敵攻撃ヲ速ニ同附近ヲ占領確保シ基地ヲ設営
シ艦艇ノ補給ニ任ズルト共ニ機ヲ見テ島内ノ敵ヲ掃蕩シ且次期作
戦ノ準備ヲ整ヘシム

ロ 麾下ノ行動概要

イ 「アナンバス」基地部隊

主トシテ「シゴラ」ニアリテ同地ノ警戒海上交通保護ニ任ジツアリ
所一月十日又十三日「コロコンドル」ニ面航補給並ニ作戦準備ヲ行ヒ
一月二十四日同地ヲ出撃シ二十六日「アナンバス」ニ進入シ之ヲ占領シ尔後
陸上及海面警戒並ニ基地設営補給ニ任ズ

(ロ)「シンゴラ」基地部隊

香椎及漁船ニ隻ハ一月十日「シンゴラ」ニ入港ル後同泊地ノ警戒
海上交通保護等在ス

(ハ) 第土潜水艦基地隊

「マナシ」ニアリテ潜水艦基地設置並ニ補給ニ在ス

ニ人員ノ現状

(一) 司令部

職員名

職	主務	官	氏名	記事
司令官		少将	平岡 条一	
参謀	計画 作战 水雷術 担任	中佐	柳川 正男	

同	同	同	同	同	同	附	主計長	軍医長	機関長	同	同
同	掃海	衣糧主任	庶務主任	軍医長付	暗號長	掌砲長兼隊士				工補副砲 作給官術航 術機務務通 担任開任信	
同	兵曹長	同	主計兵曹長	看護長	同	兵曹長	主計少佐	軍医中佐	機関大尉	機関大尉	少佐
赤星利正	春田次則	守川	土井榮	鳥居精三	山下繁	藤本唯	小野基治	久島猛男	江本一雄	入谷清明	清水珂琅
一月十八日着任	一月十着任										

十七

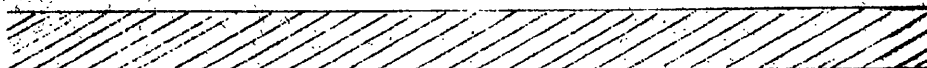
四、參考
 (一) 麾下艦船部隊行動

九	八	七	六	五	四	三	二	一	日
			ゴ		ソ			シ	丸興永
			ゴ		ソ			シ	鷹初
		ハ	ド	コ	ロ	カ		シ	丸沙長
		ハ		ラ		ゴ		ソ	掃一
									掃二
			ラ		ム	カ			掃三
				ゴ				シ	掃四
		タ	コ			ラ		ソ	掃五
ゴ	ソ					ラ		ソ	長
ゴ	ソ					ラ		ソ	第九十駆潜隊
		ラ		ラ		ム		カ	第十一駆潜隊
		ラ		ラ		ム		カ	駆七
		ラ		ゴ		ソ		シ	駆八
		ラ		ゴ		ソ		シ	駆九
		ラ		ゴ		ソ		シ	丸良相
		ゴ				ソ		シ	第十九隊備
		ゴ				ソ		シ	第十九隊信通
		ナ		ソ		シ		シ	丸島野

2243

二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一 二 三 四

ゴ シ



ル ド シ コ ロ フ

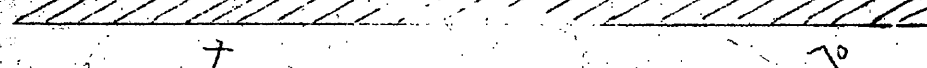
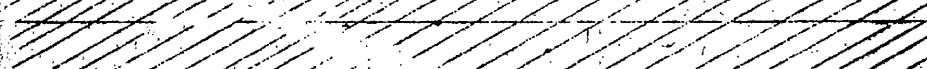
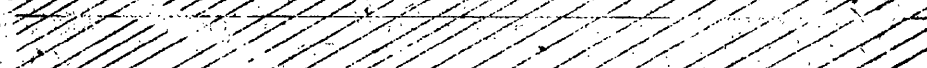
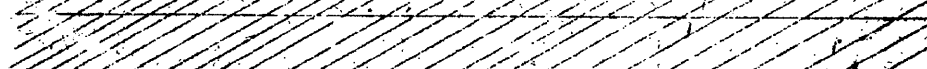
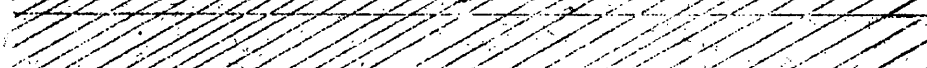
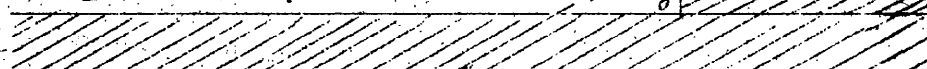
ル ド シ コ ロ フ

ル ド シ コ ロ フ

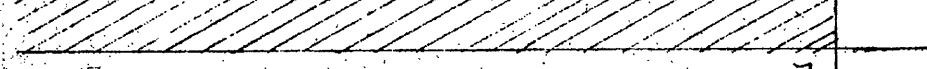
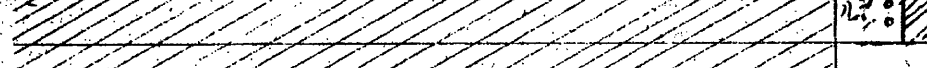
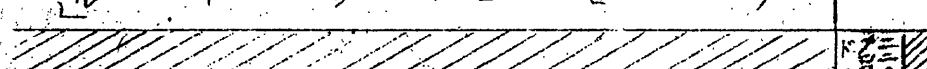
ル ド シ コ ロ フ

ル ド シ コ ロ フ

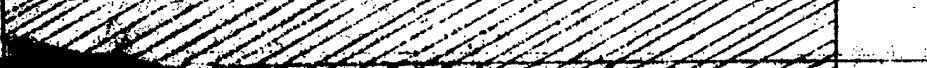
ル ド シ コ ロ フ



ル ト シ コ ロ フ



ル ド シ コ ロ フ



ル ド シ コ ロ フ



ル ド シ コ ロ フ

ル ド シ コ ロ フ

ル ド シ コ ロ フ

ル ド シ コ ロ フ

ル ド シ コ ロ フ

ル ド シ コ ロ フ

ル ド シ コ ロ フ

ル ド シ コ ロ フ

三三二九二八二七二六二五二四

ラ

ス バン ナ ア

西貢 三三二九二八二七二六二五二四
三三二九二八二七二六二五二四

ス バン ナ ア

ス バン ナ ア

ス バン ナ ア

ス バン ナ ア

ス バン ナ ア

ス バン ナ ア

ス バン ナ ア

ス バン ナ ア

ン

ス バン ナ ア

ス バン ナ ア

ス バン ナ ア

ス バン ナ ア

ス バン ナ ア

ス バン ナ ア

ス バン ナ ア

ス バン ナ ア

ス バン ナ ア

ス バン ナ ア

ス バン ナ ア

ス バン ナ ア

ラ

ガ

軍機

第九特別根據地隊機密第一大號

自昭和十七年二月二十五日
至昭和十七年三月三十一日

三月三十一日



第九特別根據地隊戰時日誌

第九特別根據地隊

左五保新隊司令部
付式〇〇〇〇〇〇
昭和十七年三月三十一日

2249

(目次)

- 一 経過
- 二 人員現狀
- 三 令達報告等
- 四 参考
- 五 作戦経過概要

解

2250

自昭和十七年二月二十五日
至昭和十七年三月三十一日
第九特別根據地隊戰時日誌

一 經過

(一) 一般情勢

イ 二月二十五日 第九根據地隊司令部改編セラレ 第九特別根據地
隊トナル

ロ 當隊ハ二月二十四日 新嘉坡水路啓開作戰終了後 昭南島ニ
集合同ニ 二十六日ヨリ 引續キ「マラッカ」海峡水路啓開作戰ニ 從事シ
三月二日ヨリ 更ニ「マラッカ」各泊地ノ掃海ヲ
實施 同五日「セレター」軍港ニ 歸着ス

ハ 三月九日ヨリ 第三護衛隊トシテ 北部「マトラ」政畧作戰ニ 參加ス

衛師團主カラ「ラガハシルク」方面ニ吉田支隊ヲ「イダ河」方面ニ
直接護衛シ之ガ上陸ニ成功セシム

二月二十五日以後第土潜水艦基地隊ハ當隊ニ編入彼南ニアリ
テ補給竝ニ同地ノ防備警戒ニ任ジ當隊陸警及水警科ヲ三
月九日彼南ニ進出セシメ防備警戒竝ニ根據地ノ設営ニ任セシム

ホザバニ島基地部隊ハ同地ノ占領後之ガ防備警戒ニ任ズ

ハ護衛部隊ハ北部「スマトラ」上陸作戰完了後三月十五日彼南ニ歸
着三月二十日ヨリ第一次緬甸攻略陸軍部隊ヲ昭南島ヨリ蘭
貢ニ直接護衛シ三月二十八日彼南ニ歸還ス

2252

ト三月三十一日將旗ヲ彼南陸上廳舎ニ移揚シ引續キ緬甸攻略陸軍部隊ノ護衛ニ任ズルト共ニ彼南根據地ノ設營竝ニ防備警戒ヲ安實施ス

チ其ノ他

戦闘詳報記載ノ通

(二) 敵軍ノ情勢

戦闘詳報記載ノ通

(三) 任務編制配備

艦隊編制

區	分	艦船部隊	特設艦船部隊	所屬長官	司令官
---	---	------	--------	------	-----

口 任 務 編 制

(1) マラッカ海峡水路啓開作戦兵力部署 自二月二十五日 至三月四日

馬根	區
來據	分
部地	指揮官
部 隊	兵 力
主 隊	主 要 任 務
上長官	
39司令官	
4467司令	
監視艦二	
駆潜七	
4467	
初鷹	
棉海部隊ノ支援	
マラッカ海峡水路啓開	

第一南遣艦隊
第九特別根拠地隊
初鷹 第一掃海隊
永興丸 第九土駆潜隊 第十潛水艦基地隊
聯合艦隊司令官
第一南遣艦隊司令官
第九特別根拠地隊司令官

5

2254

四丁 作戰兵力部署

自三月五日
至三月十五日

馬	來	部	區
第三護衛隊		彼南根據地部隊	分
官	長	下	指揮官
司令官	司令官	9039	官
初鷹	長	陸警科	兵力
占守	永興丸	水警科等	
		大濠四隻	
主要任務			
シブハニルク「イザ」方面上陸部隊、護衛		一、補給 二、彼南、防備警戒 三、交通保護	

隊
隊部
補給部隊
ノK
9 a
91kg 司令
野島丸 永興丸 91kg
補給警戒隊

2255

(ハ) 日及比作戦兵力部署 自三月十六日 至三月三十一日

來	馬	區
地 彼南根據地部隊	第 護衛隊	
下 長	官	分 指 揮 官
9039 司令官	9039 司令官	
9039 陸警科 水警科等	509 占守 初鷹 香推	兵 力
	第五十六師團第八師團 軍直部隊輸送船、昨南 (一部、彼南)ヨ、蘭貢迄 護衛	主 要 任 務

隊
カハニ 島基地部隊
カハニ 島基地部隊指揮官
9039 陸警科約子小隊 大發三隻 特設監視艇三隻 (第五開港九第(蘭貢迄))
カハニ 島、防備警戒

2256

二人員、現状

(一)職員官氏名

職	司令官	参謀兼副長	参謀	参謀	軍醫長兼分隊長
主務	計画 作戦 水	砲術 担任	砲術 担任	砲術 担任	補給 担任
官	少將	中佐	少佐	機関大尉	軍醫中佐
氏名	平岡 条一	柳川 正男	清水 珂琅	入谷 清明	久島 益男
記事					

部	伊豆島
隊	基地
	IK
官	基地部 指揮官
	永興丸 大発 四隻 907 陸警科の予小隊 大発 二隻 特設監視艇 二隻
	前任務續行

2257

同	同	同	同	同	同	同	同	隊附	同	同	隊附兼分隊長	主計長兼分隊長
同	水警科附	掌砲長	通信科附	機銃小隊長	掌着護長	一小隊長	工カマン派遣隊附	(九一警司令) アカマン派遣隊指揮官	機関長	水警科長	陸警科長	
同	同	同	同	矢曹長	着護特務中尉	兵曹長	特務少尉	大佐	機関特務大尉	特務中尉	大尉	主計少佐
窪木義信	上田一郎	平林佐	及川猛考	白石富次	渡邊庄吉	高橋等	内野正太郎	川崎晴實	山田直真	川又八郎	長船主基穂	小野基治
						三月六日任特務少尉						

10

2256

掃一掃三行動記録
未着三件記載省略

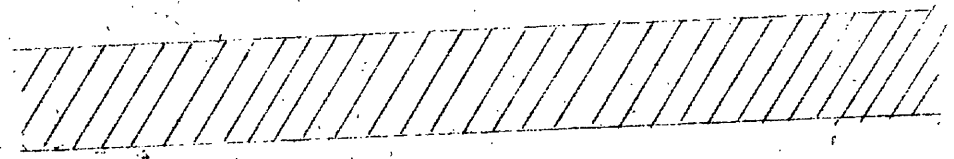
七三、四 参考

(一) 附属艦船部隊行動

日	永興丸	初鷹	掃一	掃二	掃三	掃四	掃五	長江丸	昭南丸七	昭南丸	掃一	掃二
			第一掃海隊					第九土驅潛隊			第十潜水艦基地隊	

三王日一九〇 司令官	
三王日一九二一 隊長官 (GT 2F 参謀長 下部隊)	4049 司令
4039 機密第六。八番電 本職將旗ヲ陸上廳舎ニ掲揚ス	四月二日。八三。昭南発三日二。一尋礁附近 四日 一三〇。B 矣(五度二七分北九度四五分東) 五日 一六〇。C 矣(八度一分九七分度二六分) 六日 一〇〇。D 矣(八度二五分九七分度二六分) 八日 一〇〇。噴司カ一之河口着
	線兼

三	二	二	一	九	八	七	六	五	四	三	二	一
一三五〇		南		彼		二〇六			一八二〇	ラ ブ ル ク	コ 一 四 五	
〇八五八		ン		カ		二〇一			一七五九	ラ ブ ル ク 弁	コ 一 三 〇	



	〇八〇〇	ン		カ		二〇一						
--	------	---	--	---	--	-----	--	--	--	--	--	--

			二〇一	〇九		昭	南	島				
	二二	二二	二二	〇九		昭	南	島			一五三	五
	一九	二二	二二	〇九		昭	南	島			一五三	〇
	二四	二二	二二	〇九		昭	南	島			一五三	〇

49

2261

